

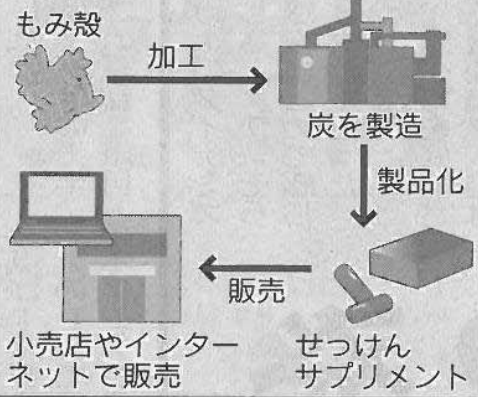
# もみ殻の炭で日用品

## ガイア環境技研

炭化物に関する研究などを手掛けるガイア環境技術研究所(仙台市、田口信和社長)は健康・美容分野に参入する。精米の過程でできるもみ殻を原料にした炭を使ったせっけんやサプリメントを今年中に開発し、2013年にも販売を目指す。炭の特徴を生かした高付加価値商品の開発に乗り出し、事業の柱の一つとして育てる。

同社は有機物から炭を作る炭化加工機の研究・開発、製造などを手掛けている。同加工機を使ってもみ殻利用による炭を製品化。加工機にもみ殻を入れ、無酸素に近い状

もみ殻がせっけんやサプリメントに変わる



## せっけんやサプリに

炭は表面に開いた大小の無数の穴がにおいや油を吸収し、脱臭や油吸着の特徴を持つ。炭を使ったせっけんには皮膚の老廃物を除去し、消臭する効果が見込める。また炭を使ったサプリメントには体内の有害物質や油を吸い、体外に出す効果が

## 消臭・油吸着を期待

態にして外側から加熱するなどして炭を作る。さらにこの炭を使ってせっけんやサプリメントの開発を進める。



もみ殻が原料の炭を使ったせっけんやサプリメントを開発する

期待できる。同社が自社開発した炭化加工機を使ってもみ殻で作った炭は、一般的に

売られている同様の製品よりも表面の穴が多く、脱臭や油吸着などの高い機能が見込めるという。こうした特徴を持つ炭から生まれたせっけんやサプリメントを高付加価値

商品として売り出す。12年間に商品の試作を終え、13年にも本格販売を目指す。20代以上の男女を対象に、百貨店の催事などを通じて販売するほか、自社でのインターネット販売などを検討する。5年後にはせっけん1億3000万円、サプリメントで2億5000万円程度の売上高を目指すとしている。

## 東北の倒産 20カ月ぶり増 8月34件

東京商工リサーチ東北支社が5日発表した東北6県の8月の企業倒産件数は34件と前年同月比21%増えた。前年を上回ったのは2010年12月以来20カ月ぶり。体力の弱い小規模企業の倒産が目

立った。政府の資金繰り支援策で倒産が抑えられている一方、沿岸部で事業再開が遅れている企業を中心に緩やかに増加に転じるとの見方がある。負債額5000万円未満の小規模倒産が19件と

半数以上を占めた。震災関連の倒産は宮城、福島、青森の3県で4件発生した。津波被害で事業休止し工場の移転再開を模索したが、ここに至り事業継続を断念する例もあるという。業種では建設業